

# 豊橋市 公園施設長寿命化計画

令和4年 11月

愛知県 豊橋市  
都市計画部 公園緑地課

# 目 次

1.	都市公園整備状況.....	1
2.	計画期間（西暦）.....	1
3.	計画対象公園.....	1
①	種別別個所数.....	1
②	選定理由.....	1
4.	計画対象公園施設.....	1
①	対象公園施設数.....	1
②	これまでの維持管理状況.....	1
③	選定理由.....	2
5.	健全度を把握するための点検調査結果の概要（個別施設の状態等）.....	2
6.	対策の優先順位の考え方.....	2
7.	対策内容と実施時期.....	3
①	日常的な維持管理に関する基本的方針.....	3
②	公園施設の長寿命化のための基本方針.....	3
8.	都市公園別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期等..	3
9.	対策費用.....	4
10.	計画全体の長寿命化対策の実施効果.....	4
11.	計画の見直し予定.....	4
①	計画の見直し予定年度（西暦）：〔2032年度〕.....	4
②	見直し時期、見直しの考え方など.....	4

## 1. 都市公園整備状況

(令和4年3月末時点)

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
411	384.08ha	10.36㎡/人

## 2. 計画期間(西暦)

[2023年度～2032年度(10箇年)]

## 3. 計画対象公園

### ① 種別別個所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	歴史	緩衝	都緑	合計
353	12	5	4	3	-	7	2	1	22	409

### ② 選定理由

豊橋市が管理する都市公園として、市民のレクリエーション需要に対応し、地域活性化や健康増進、地域防災、環境保全等の様々な役割を有し、これらの機能を安全かつ持続的に維持させて、市民が安心して安全に利活用できる公園として選定した。

計画対象公園は「都市公園法第2条に基づく都市公園」のうち、街区、近隣、地区、総合、運動、風致、歴史公園、緩衝、都市緑地の全てを対象とした。

なお、都市公園のうち、豊橋総合動植物公園は総合動植物公園管理事務所、向山墓園は福祉政策課が管理するものであり、計画対象から除く。

## 4. 計画対象公園施設

### ① 対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
57	242	117	1,763	260	1	1

管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
2,578	1	4	5,024

### ② これまでの維持管理状況

職員の巡回により、日常点検を実施するとともに、遊具は定期点検を年1回実施している。建築設備に関しては毎年法定点検を実施している。また、利用者等からの情報により不具合箇所の補修等を実施している。なお、予算執行上の理由により速やかに補修を実施できない施設については、使用禁止措置を講じるなど遊戯施設による事故防止に努めている。

### ③ 選定理由

平成 24 年度に策定した豊橋市公園施設長寿命化計画を引き継ぎ、予防保全型の遊戯施設や管理施設（照明施設・柵等）、休養施設、機械施設、橋、展望台を計画対象施設とする。

計画対象公園については、公園施設の長寿命化対策により、公園機能の保全を図りつつ、ライフサイクルコストの縮減を実現する。また、日常点検や定期点検による確認により、施設の安全性を維持する。

## 5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要（個別施設の状態等）

点検調査は、2022 年 7 月から 2022 年 10 月までの期間に実施した。

### 1. 一般施設、土木構造物、建築物

国土交通省の公園施設長寿命化計画策定指針に則り、目視、触診、打診、揺診などにより健全度調査を実施し、劣化度の 4 段階で評価した。調査は予防保全型の 2,700 施設を対象に実施した。

### 2. 遊具等

遊具は令和 3 年度に実施した定期点検結果を用いて、劣化度およびハザード等の 4 段階による評価結果を利用した。調査は 2,324 施設を対象に実施した。

(施設)

	健全度判定				備考
	A	B	C	D	
a. 一般施設 ( 2,639 )	1,247	844	533	15	
b. 土木構造物 ( 57 )	13	27	12	5	橋
c. 建築物 ( 4 )	0	1	3	0	展望台
d. 遊具等 ( 2,324 )	545	789	930	60	
合計 ( 5,024 )	1,805	1,661	1,478	80	

## 6. 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位は、5. で示した「健全度判定」のほか「考慮すべき事項」から設定した「緊急度判定」に基づくこととした。

考慮すべき事項としては、施設の使用量や安全面での考慮の必要性から重要度の高い遊戯施設のハザード状況により設定した。

(施設)

	緊急度判定		
	高	中	低
a. 一般施設 ( 2,639 )	15	533	2,091
b. 土木構造物 ( 57 )	5	12	40
c. 建築物 ( 4 )	0	3	1
d. 遊具等 ( 2,324 )	761	229	1,334
合計 ( 5,024 )	781	777	3,466

## 7. 対策内容と実施時期

### ① 日常的な維持管理に関する基本的方針

点検の区分に関しては、以下の点検を実施する。その他の公園施設については、日常の巡回時に安全を確認する。

通常点検（巡回時）：市職員、清掃委託、植栽管理、ボランティアなど

定期点検（年1回）：専門業者

精密点検（適宜）：専門業者

また、各施設の管理水準は、利用者の大きな事故が想定される遊戯施設はB判定以上とし、C判定で速やかに補修を実施して安全管理に努めることとする。

照明施設などの管理施設は、利用者の重大な事故が想定されにくいいため、目標とする管理水準はC判定以上とする。その他舗装等の土木構造物は、事後保全型管理とし、施設の損傷が発見された場合は、速やかに補修又は更新（撤去）を行う。

### ② 公園施設の長寿命化のための基本方針

健全度調査結果により緊急度が高いと設定した公園施設に対する長寿命化のための補修・更新とともに、現在健全である公園施設についても補修計画に取り組むことで公園施設の安全性の確保と機能保全及び維持管理予算の低減を図る。また、遊具については「遊具の安全に関する規準」に示される消耗部材について、推奨交換サイクルの期間内における定期的な部材交換を実施するものとする。

健全度と使用見込期間を考慮し、補修・更新計画を策定した上で、点検等により対策時期を随時検討し、機能の維持と安全性の確保に努める。

## 8. 都市公園別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期等

※別添「公園施設長寿命化計画調書」（様式1「総括表」、様式2「都市公園別」、様式3「公園施設修理別現況」）による

## 9. 対策費用

I. 概算費用合計（10年間）【Ⅱ＋Ⅲ】	1,093,931 千円
Ⅱ. 予防保全型施設の概算費用合計（10年間）	1,093,931 千円
Ⅲ. 事後保全型施設の概算費用合計（10年間）	—
Ⅳ. 単年度あたりの概算費用（Ⅰ/10）	109,393 千円

## 10. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

長寿命化対策による単年度あたりライフサイクルコストの縮減額は、357,633 千円/年である。

## 11. 計画の見直し予定

① 計画の見直し予定年度（西暦）：〔2032 年度〕

② 見直し時期、見直しの考え方など

次回以降の健全度調査の結果が、長寿命化計画で定めた内容と著しく乖離が生じた場合に計画の見直しを行う。